

平成18年度事業報告

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

平成18年度の我が国経済は、景気の緩やかな回復とともに雇用情勢においても有効求人倍率が上昇するなど改善の動きが続いている。

こうした中で、県下のシルバー人材センター事業は、暫定集計値ではあるが、平成18年度の契約金額は、指定管理者制度の影響もあり117億8千万円で、残念ながら前年度比2.3%減となった。

しかし、会員数(平成19年3月31日現在)は、前年度に比べ109人増の22,400人となり、高年齢者の活動の中核的団体としての位置付けは一層高まってきている。

連合会の事業については、市町村合併に伴うセンターの統合により、補助金の確保が厳しい中において、その確保をはじめ諸課題の解決策について例年にも増して積極的に取り組んだところである。

なお、通常業務については、各活動拠点の協力を得て引き続き普及啓発事業の一環として、全センター協調による年間を通じての広報活動を展開するとともに、会員の安全・適正就業に対する意識の啓発、発注者の意向にそえる技能の習得、民間事業所や行政機関に対する積極的な就業開拓等により就業機会の拡大を図るなど、各種事業について積極的な事業推進に努めた。

この他、国からの委託事業であるシニアワークプログラム事業は、事業費ベースで依然として高い水準を保っており、高年齢者の雇用・就業機会の拡大に寄与することができた。

以下、平成18年度事業の概要は、次のとおりである。

事業実施状況

1 会議の開催

連合会の運営や各センターに係る諸問題を審議し事業を推進するため、次のとおり会議等を開催した。

(1) 総会

月 日	場 所	種 別	事 項
平成18年 6月20日 (火)	ホテルプリヴェ 静岡ステーション	第20回 通常総会 (出席者 112名)	1 議決事項 (1) 平成17年度事業報告 (2) 平成17年度収支決算 (3) 平成18年度収支補正予算 (4) 辞任に伴う役員の選任 2 その他 (1) 役職員研修会 講演「貧乏神を追い払う!! よい「口ぐせ」を身につけよう!! 講師 田邊 哲 氏
平成19年 3月23日 (金)	ホテルアソシア 静岡ターミナル	第21回 通常総会 (出席者 108名)	1 議決事項 (1) 平成19年度事業計画 (2) 平成19年度収支予算 (3) 平成18年度収支補正予算 (4) 辞任に伴う役員の選任 2 その他 (1) トップセミナー 講演「人生百年 すべての人に居 場所と出番を」 講師 NPO法人 高齢社会をよ くする女性の会理事長 樋口 恵子氏

- (2) 理 事 会
- (3) 監事監査
- (4) 正副会長会議
- (5) 正副会長による陳情等
- (6) 代表者会議等
- (7) 事務局長会議等
- (8) 委員会及び専門小委員会

2 普及啓発事業

シルバー人材センター事業に対する県民の理解を深め、協力を広げるとともに、シルバー人材センターの会員の増強、就業機会の拡大を目指し普及啓発活動を行った。

(1) 普及啓発委員会の開催 2回

(2) 会報の発行（3回） 84,000部

シニア・ワーク・プログラム事業、平成17年度及び平成18年度の主な事業、経験交流大会、研修会での講演等を内容とするシルバー人材センター会員向けの会報を作成し会員等に配付した。

(3) 啓発用カレンダーの作成・配布 3,737部

(4) 月刊「シルバー人材センター」の配布 毎月 55冊

全シ協が発行する同誌を、任意センター並びに賛助会員である市町に配布した。

(5) 民間事業所や行政機関等に、シルバー人材センター事業を正確に理解してもらうためのパンフレットを作成配布した。

ア 事業のご案内 20,000部

イ 仕事のご案内 20,000部

ウ 入会のご案内 20,000部

(6) 平成18年10月4日の経験交流大会当日、新聞広告とともに通常のラジオ番組の中にシルバー人材センターの情報を組み込んで流すという「ラジオジャック」を展開した。

(7) 新聞によるPRの実施 2紙 6回

(8) 春・秋の交通安全運動、高校野球、富士山クリーン作戦及び市町村対抗駅伝に協賛してシルバー人材センターの宣伝を行った。（SBSラジオ、SBSテレビ、静岡新聞）

(9) 全センター協調による継続的な広報活動

全センターが協力して年間を通し切れ目のない広報を実施することにより、県民のシルバー人材センターに対する理解を深めることを目的に、それぞれのセンターが目標を定めて広報活動を実施した。

(10) マスコミへの情報提供（資料配布 6回）

総会、経験交流大会、各種事業の実績について、県政記者クラブへ資料提供、状況の説明、取材協力を行い、記事の掲載及び放送による広報に努めた。

3 就業開拓推進事業

シルバー人材センターに対する発注の拡大など就業開拓を目指して各種の事業を実施した。

(1) 就業開拓委員会の開催 1回

(2) 広域事業の連合会一括契約

県の計量器定期検査補助業務について、関係センターの委託を受けて、連合会が（社）静岡県計量協会と一括契約した。

対象 28市町（28シルバー人材センター） 就業日数 118日

(3) 就業開拓用品の配布

主として民間事業所に対する就業開拓に役立てるため、就業開拓促進用品を配布した。

① タオル 16,024 本

② クリアファイル 20,000 部

(4) 県営都市公園外部評価アンケート調査の実施

県営都市公園利用者の満足度を調査し、外部評価の基礎資料とするため、県から委託されたセンターが行う調査事業に側面的支援をした。

調査公園 県営都市公園 6公園

調査センター 6シルバー人材センター

調査時期 平成18年8月～11月

4 交流研修事業

シルバー人材センターの役職員及び会員の事業に対する相互理解、資質の向上を目的として、経験交流大会及び各種研修会を開催した。

(1) 交流研修委員会の開催 4回

(2) 経験交流大会の開催

ア 開催日 平成18年10月4日（水）

イ 場所 掛川市生涯学習センター

ウ 参加者 1,002名

エ 内 容

① 記念講演

演 題 「山内一豊と千代にみる戦国夫婦像」

講 師 小和田 哲男 氏 (静岡大学教育学部教授)

② 事業活動事例発表 (2センター)

- ・「SP事業と就業拡大」

(社)湖西市シルバー人材センター

会員 小沼 逞志 氏

- ・「独自事業が果たす宣伝効果」

(社)伊東市シルバー人材センター

事務局長 佐々木 広雄 氏

③ サークル活動発表 (8センター)

静岡市、浜松市、富士市、磐田市

牧之原市、掛川市、湖西市、大井川町

④ センター会員の作成品展示・即売 (参加22センター)

(3) 各種研修会の開催

各種の研修会を開催し、情報交換等を通じ現状の把握と問題解決に向けて取り組んだ。

開催状況は、別紙1のとおり。

(4) 全シ協等が主催する研修会へ出席し、その成果を拠点センターに伝達することにより会員の資質向上を図った。

主な出席状況は、別紙2のとおり。

5 安全・適正就業推進事業

(1) 安全・適正就業推進委員会の開催 3回

(2) 安全・適正就業巡回訪問の実施

安全就業推進委員会委員が、県内3か所のセンターの就業現場を12月～1月に巡回訪問し、作業現場の確認など、安全・適正就業の推進を図った。

(3) 安全・適正就業講習会の開催 (刈払機取扱い安全衛生教育) 3回

(4) 安全・適正就業推進研修会の開催

ア 開催日 平成18年7月11日(火)

イ 場 所 静岡労政会館

ウ 参加者 180名

エ 内 容

① 基調講演

演 題 「就業先での安全作業の指導」

講 師 中央労働災害防止協会

中部安全サービスセンター安全管理士 大竹 克則 氏

② 事例発表

- ・「安全・適正就業の取組みについて」

(社) 小山町シルバー人材センター

理事・安全委員会委員長 池谷 啓三 氏

- ・「私達の安全就業について」

川根本町シルバー人材センター

副理事長 和田 利夫 氏

- ・「統合による広域化と安全・適正就業の課題」

(社) 浜松市シルバー人材センター

浜北事務所長 小杉 源之輔 氏

(5) 安全就業推進員交流研修会の開催

ア 開催日 平成19年1月24日(水)

イ 場 所 静岡市 労政会館

ウ 参加者 70名

エ 内 容

① 基調講演

演 題 「シルバー人材の配慮すべき諸項目について」

講 師 宮澤労働安全コンサルタント

所長 宮澤 徹 氏

② 事例発表

- ・「安全への取組みについて」

(社) 函南町シルバー人材センター

安全就業推進員 遠藤 博 氏

- ・「安全就業に対する取組みについて」

川根町シルバー人材センター

安全就業推進員 西村 敏郎 氏

- ・ 「安全就業の現状」

(社) 湖西市シルバー人材センター

安全就業推進員 桂山 洋一 氏

6 調査研究事業

シルバー人材センター事業の推進に資するため、次のとおり調査を実施し資料を提供した。

- (1) 調査研究委員会の開催 2回
- (2) ホワイトカラー就業開発事業アンケート調査
- (3) シルバー人材センターの仕事の見積りに係る基準単価

7 無料職業紹介事業

無料職業紹介事業は、高齢法による一つの柱でシルバー連合としての事業であるが、労働局に届出ているセンターにおいて当該事業を実施できる。このため高齢者の多岐にわたる要望にきめ細かく対応するべく下記センターで実施することとした。

事業開始日 平成19年1月16日

実施センター 伊東市、富士市、伊豆の国市、長泉町、静岡市、島田市
藤枝市、浜松市、磐田市

8 指導相談事業

- (1) (社) 全国シルバー人材センター事業協会の個別指導に同行し、必要な助言を行った。

- ・ 対象シルバー人材センター (6センター)

沼津市、袋井・森地域、清水町、長泉町、小山町、新居町

- (2) 県が行う法人団体及び任意団体の調査に同行、立会いをするとともに、各シルバー人材センターの担当者に必要な助言を行った。

- ・ 対象法人団体シルバー人材センター (13センター)

浜松市、伊東市、島田市、富士市、焼津市、掛川市、御殿場市
裾野市、菊川市、牧之原市、小山町、大井川町

- ・ 対象任意団体シルバー人材センター（5センター）
松崎町、由比町、岡部町、川根町、川根本町

9 ブロック関係事業の推進

県内シルバー人材センターの東部・中部・西部の各ブロック毎に事務局長会議を置き、各種研究会を開催し、ブロック内各センターの情報交換等を促進した。開催状況は、別紙3のとおり。

10 シニアワークプログラム事業

厚生労働省の委託を受けて、高齢者の雇用・就業を促進するシニアワークプログラム事業を実施した。

(1) 普及啓発（一部再掲）

ア 「県シ連だより」の発行	3回
イ ラジオスポット	延べ67回
ウ 新聞広告	延べ9回
エ 技能講習用案内パンフレット作成・配布	20,000部
オ 事業啓発用リーフレット等作成・配布	60,000部
カ NTTタウンページ広告掲載	1回
キ 啓発用カレンダーの配布	3,737部
ク 月刊シルバーの配布	毎月 55冊
ケ 全センター協調による継続的な広報の実施	
コ 県等関係機関の協力を得た広報活動	

(2) 技能講習

ア 技能講習第1種	7職種	58回	受講者	1,060人
(講習内訳等)				
① パソコン初級コース		20回	受講者	414人
パソコン中級コース		13回	受講者	257人
パソコンアシスタント		2回	受講者	38人
パソコン検定コース		1回	受講者	23人
② 造園緑化サービスコース		6回	受講者	105人

③ 建築リフォームコース	1回	受講者	20人
④ 塗装サービスコース	2回	受講者	36人
⑤ 普通自動車2種免許取得コース	5回	受講者	49人
⑥ フォークリフト技能取得コース	4回	受講者	57人
⑦ クロス貼りコース	4回	受講者	61人

イ 介護講習第1種

(講習内訳等)

① 2級ヘルパー養成コース	13回	受講者	238人
---------------	-----	-----	------

ウ 技能講習第2種

171回 延べ受講者 7,732人日

(講習内訳等)

① 育児サービス	4回	延べ受講者	235人日
② 竹製品等加工	5回	延べ受講者	147人日
③ 住宅クリーニング等	9回	延べ受講者	275人日
④ 表 具	18回	延べ受講者	638人日
⑤ 筆 耕	7回	延べ受講者	700人日
⑥ パソコン	15回	延べ受講者	990人日
⑦ 庭園サービス	59回	延べ受講者	2,450人日
⑧ 草刈機取扱	22回	延べ受講者	907人日
⑨ 刃物研ぎ	10回	延べ受講者	350人日
⑩ ラッピング	4回	延べ受講者	155人日
⑪ その他	18回	延べ受講者	885人日

エ 介護講習第2種

29回 延べ受講者 2,495人日

(3) 合同面接会等による職業紹介

4回

造園緑化	藤枝市、富士市
2級ヘルパー	磐田市
普通自動車2種	富士市

(4) 県下全ハローワーク訪問 (7月7日～7月26日) 18ハローワーク

静岡労働局高齢者対策担当官の同行を依頼し訪問、各ハローワークの所長、担当官等との面談、SP事業のPR。

本会から、局長、次長、SP担当者が出席。

11 特定公益増進法人制度の運営

寄付金の受入：寄付者 27人 合計金額 216千円（6センター）

12 その他

東海シルバー人材センター連絡協議会事務局として、通常総会及び経験交流大会の開催等事業の円滑な推進に努めた。

通常総会及び経験交流大会

開催日 平成18年6月15日(木)

場 所 熱海市「水葉亭」

参加者 242人